

9月23日、農林畜産食品部は、京畿道坡州市所在の豚農場1か所からアフリカ豚コレラ疑似畜の申告があったとの報道資料を発出したところ概要以下のとおり。

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbWFmc mEIMkY20CUyRjMyMTQwMyUyRmFydGNsVmIldy5kbyUzRg%3D%3D>

【見出し】

京畿道坡州市所在の豚農場1か所からアフリカ豚コレラ (ASF) 疑似畜申告

【本文】

農林畜産食品部は9月23日(月)、重点管理地域内に位置する京畿道坡州市所在の豚農場からアフリカ豚コレラ(以下「ASF」)疑似畜の申告1件が受け付けられたと明らかにした。

申告農場は農場主が9月23日に母豚3頭の異常などの症状を確認して京畿道坡州市に疑似の申告をした。

\*道坡州市積城面所在農場:豚約2,300頭(母豚200頭など)飼育/漣川発生農場から約6.9キロに位置し、従来の防疫帯に位置

農食品部は通報を受けた直後、該当農家に初動防疫チームを投入して人、家畜及び車両などの移動統制、消毒など緊急防疫措置を行っている。

畜産農家及び畜産関係者は「ASF発生及び伝播防止のため、農場及び関連施設に対する消毒など防疫措置を十分に行い、疑似の症状がないか綿密に観察し、異常を発見した場合、家畜防疫機関などに速やかに届け出るよう求めた。

(以上)